

ここが聞きたい!!

4名が登壇

椎木町長 2 期目の出馬を問う

魚 原 満 晴 議員

問 2 代目周防大島町長に就任以来、賑わいの創出、安全・安心の一層の取組みに努め、その成果は体験型修学旅行の誘致、道の駅へのチャレンジショップの開設等、交流人口 100 万人の達成も間近である。また学校の耐震化や町立病院の改築等多くの成果を上げてきた。これまでの 3 年余りを振り返り、これからの周防大島町をどう考えるのか、また次期町長選への出馬はどのように考えているのか。

答 次期町長選挙への出馬については、既に多くの方々より再選への出馬要請を受けており、また多数の団体から早々に推薦をいただ

き身に余る光栄と感じている。町民の皆様の理解と支援がいただけるならば、引き続き町政運営に全力を投入したいと考えている。

これからの町政については、交流活動を前進させ「交流から定住へ」とステップアップさせたい。若い人が定住できる経済的自立環境とシルバー世代の U・I・J ターンの皆さんの生きがいに通じる環境づくりに向け、新しい取り組みにチャレンジしていく。



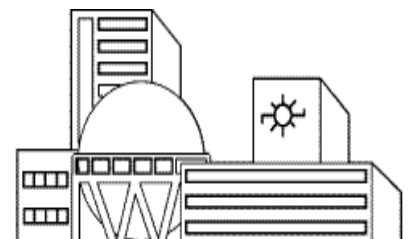
民泊学生とのお別れ風景

伊方原発再稼働ストップ!

広 田 清 晴 議員

問 町長は町民の安心安全を守る立場から老朽化した伊方原発再稼働反対を明確にすると共に反対の立場で行動するよう求める。

答 伊方原発は現在 1 号機及び 3 号機の定期検査は終了しているが、福島第一原発の事故を受け、運転再開の目途が立っていない。また 1 月に 2 号機が定期検査に入り、現在すべての原発の送電は停止の状態。私としては政府の対応を見守りたい。



問 四国電力原発を巡る状況では、裁判闘争の状況と共に 3 号機は非常に危険ともいわれるモックス燃料使用の問題もある。ストレステストに合格したからといって安全性が確立したことにはならない。そのようなことになれば「第 2 の安全神話」を許すことになる。

仮に再稼働となれば、ヨウ素剤の配布についてはどのように考えているのか。

答 ヨウ素剤は、3 年の使用期限があることや、小児用の内服液の調整は医師、薬剤師の指導が必要等、取り扱いには注意を要する。関係機関とも十分協議し、配置及び事前配布を検討していきたい。

(その他地元業者の生き死に関わる総合評価方式ストップ。竜崎の指定管理問題を質問した。)